

2019（令和元）年度

# 事業報告書

自 2019年4月 1日

至 2020年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

## ①グッドデザイン賞事業

2019年度グッドデザイン賞も、前年に引き続き審査委員長に柴田文江氏、審査副委員長に齊藤精一氏を迎えた。事業を始めるにあたり「美しさ=人の想いや意志を、どれだけ豊かな解像度で読み解いていけるか、及び、共振力=人々の共感を呼び覚まし、望ましい変化をもたらしていく力に着目する」というメッセージを提示した。デザインによるクオリティの高い課題解決方法を積極的に見つけていく方針のもと、グッドデザイン賞が持つ「発見」「共有」「創造」のサイクルをより拡充させることに努めた。

### 応募と受賞

2019年度グッドデザイン賞は4月4日から募集を開始し、4,772件のデザインに対して審査を行い、10月2日に過去最多となる1,420件の受賞を発表した。また、10月31日にはグッドデザイン大賞、金賞、グッドフォーカス賞を発表した。

審査対象数：4,772件

受賞数：1,420件

受賞企業数：940社

うち、東日本大震災復興支援措置に基づく受賞：24件

(福島県、宮城県、岩手県に本拠を置く応募者に対する費用免除などの措置を実施)

同 海外デザイン賞連携による受賞：37件

(賞連携を行っているタイ、インド、シンガポール、トルコのデザイン賞受賞対象からグッドデザイン賞への応募による受賞)

※受賞発表後に、受賞の取り消しが2件発生した。

特別賞の内訳

グッドデザイン大賞(内閣総理大臣賞)：1件

グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)：19件

グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]：3件

(経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官賞)

グッドフォーカス賞[技術・伝承デザイン]：3件

(中小企業庁長官賞)

同[地域社会デザイン]：3件(日本商工会議所会頭賞)

同[防災・復興デザイン]：3件(日本デザイン振興会会長賞)

### 審査体制

多様な応募対象を適切に審査するために、2019年度も様々な領域の専門家を新たに迎えて総勢92名の審査体制を整えた。

また、「グッドデザイン・ベスト100」を特別賞候補として明確に位置付けるため、特別賞選考の最終プロセスとして、「ベスト100プレゼンテーション公開審査」を実施した。

さらに、二次審査会に外国人の審査委員14名を招聘し、グローバルな観点からのデザイン評価と共通理解を促すことにも努めた。



GOOD  
DESIGN



グッドデザイン賞二次審査会場



グッドデザイン賞受賞祝賀会

## フォーカス・イシュー

フォーカス・イシューは、デザインの領域から社会課題に対する働きかけを行い、今後の社会におけるデザインの役割と可能性を見出す取り組みである。5年目となる2019年度は、過去4年の実績を踏まえて制定した4つのフォーカス・イシューに対して、各2名のディレクターが受賞デザインの言説化を行い、提言集としてまとめた。

### ■2019年度フォーカス・イシューおよびディレクター

「新ビジネスのデザイン」林厚見（建築/都市プロデューサー）、  
ペニンントン・マイルス（教育イノベーター）

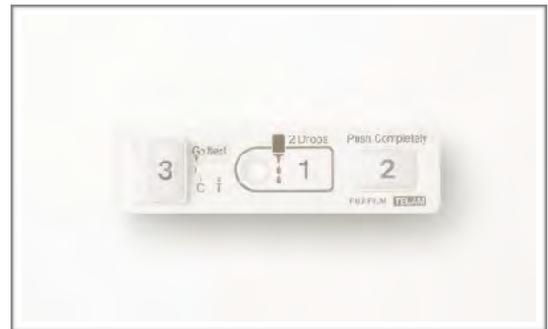
「技術・伝承のデザイン」佐々木康晴（クリエイティブディレクター）、  
廣川玉枝（クリエイティブディレクター/デザイナー）

「地域社会のデザイン」近藤ヒデノリ（クリエイティブプロデューサー/キュレーター）、  
山出淳也（アーティスト）

「防災・復興のデザイン」井上裕太（プロジェクトマネージャー）、  
栃澤麻利（建築家）



フォーカス・イシュー・ディレクターによるプレゼンテーション



グッドデザイン大賞「結核迅速診断キット」

## グッドデザイン・ベスト100

すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に高い評価を得た100件が「グッドデザイン・ベスト100」。グッドデザイン大賞や金賞などの候補になるとともに、今後の各分野のデザインを先導するベンチマークとなりうるデザインに位置づけられている。

## グッドデザイン大賞

グッドデザイン大賞は、すべての受賞デザインの中から1件が選ばれ、テーマ性・時代性・社会性などの面でその年度のシンボルとなるデザインとして位置付けられる。2019年度は10月31日に5件のファイナリスト（大賞候補）を発表し、同日、グッドデザイン賞の審査委員と受賞者および受賞展来場者による投票を実施し、富士フイルム株式会社の「結核迅速診断キット」が選出された。



グッドデザイン大賞選出

## グッドデザイン・ロングライフデザイン賞

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、ユーザーから長年にわたり支持されることで将来にわたって生活の質を築く価値を持ったデザインを讃えるとともに、よいものを長く使い続けることの意義を社会に示す賞である。2019年度はユーザー推薦および製造者等から応募された123件の中から、審査の結果15件が受賞した。



グッドデザイン賞受賞展

## グッドデザイン賞受賞展

受賞プロモーションの中核企画として、2019年度グッドデザイン賞受賞デザイン全件の紹介を中心に、「グッドデザイン・ベスト100」特別展示、受賞数ランキング上位企業による展示、ロングライフデザイン賞受賞展などをはじめ、フォーカス・イシュー・トークなど、多面的なプログラムで開催した。また、野原ホールディングの協力により「GOOD DESIGN STORE by NOHARA」のポップアップショップを期間中に展開し賑わいを醸した。



ロングライフデザイン賞受賞展

会期：10月31日～11月4日  
会場：東京ミッドタウン  
来場者数：73,100名（ミッドタウン・ホール、カンファレンス、21\_21 Gallery 3のみ/1日平均14,620名）  
来街者数：248,697名（オープンスペース含/1日平均49,739名）

## 私の選んだ一品展

グッドデザイン賞審査委員のお気に入り最新受賞作=「一品」を、書き下ろしのコラムとともに紹介する展示会を開催した。

会期：10月2日～25日  
会場：東京ミッドタウン・デザインハブ  
来場者数：10,325名

## 受賞デザインを知るツアー

グッドデザイン賞を受賞したデザインの現場を訪問し、受賞企業やデザイナーが直接説明するツアー企画を3月に予定していたが、新型コロナウイルスの影響で実施を中止した。

## グッドデザイン賞における復興支援

2011年度からの東日本大震災復興支援特例措置を継続し、岩手県、宮城県、福島県を本拠とする事業者からのグッドデザイン賞応募に要する費用などを無償にしている。2019年度は対象地域から24件がグッドデザイン賞を受賞した。また、グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]には3件が選ばれた。

## 説明会・報告会

グッドデザイン賞の理念や応募情報に関する説明会を、4月から5月にかけて国内12箇所で実施した。福島や大阪では審査委員によるセミナーを行ったほか、審査の視点セミナーや審査体験ワークショップ、個別相談会なども各地で開催した。また、受賞発表後に、審査報告会を審査ユニットごとに実施した。

## 出版

2019年度受賞デザイン全件を掲載した『GOOD DESIGN AWARD 2019』を、2020年3月に発刊した。現在の仕様として今年度で10年目となる。



GOOD DESIGN STORE by NOHARA



私の選んだ一品展



応募説明会：審査委員によるセミナー



『GOOD DESIGN AWARD 2019』

---

## グッドデザイン大賞・金賞・特別賞

### グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

- ・診断キット 結核迅速診断キット／富士フィルム株式会社

### グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

- ・toio™ 専用タイトル 工作生物 ゲズンロイド／株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- ・防振双眼鏡 Techno-Stabi TS-X1440／富士フィルム株式会社
- ・音知覚装置 音をからだで感じるユーザインタフェース「Ontenna」／富士通株式会社＋富士通デザイン株式会社
- ・レンズ交換式ミラーレスカメラ SIGMA fp／株式会社シグマ
- ・OLED TV LG SIGNATURE OLED TV R9／LG Electronics, Inc.
- ・超短焦点プロジェクター フジフィルム プロジェクター Z5000／富士フィルム株式会社
- ・自動運転バス GACHA／株式会社良品計画
- ・西武鉄道特急車両 Laview／株式会社妹島和世建築設計事務所＋株式会社日立製作所＋西武鉄道株式会社 SEIBU RAILWAY Co.,Ltd.
- ・Mobility as a Service (MaaS) Platform Whim - All your Journeys／MaaS Global
- ・超音波画像診断装置 FUJIFILM iViz air／富士フィルム株式会社
- ・蒸留所 MITOSAYA薬草園蒸留所／mitosaya株式会社
- ・都会の中の実験的な「変わり続ける公園」 Ginza Sony Park（銀座ソニーパーク）／ソニー企業株式会社＋ソニー株式会社
- ・市民交流センター 須賀川市民交流センターtette／須賀川市＋株式会社石本建築事務所＋株式会社畝森泰行建築設計事務所＋アカデミック・リソース・ガイド株式会社＋株式会社スティルウォーター＋株式会社日本デザインセンター
- ・Museum U-mkt／JUT Foundation for Arts and Architecture
- ・スポーツ向け判定システム AI自動採点システム／富士通株式会社＋富士通デザイン株式会社
- ・ビジネスモデル 世界の貧困層を救うFinTechサービス／Global Mobility Service株式会社
- ・AIを用いた創薬支援サービス drug2drugs／富士フィルム株式会社
- ・クリニック かがやきロジ／医療法人かがやき
- ・地域包括ケア いわきの地域包括ケアigoku（いごく）／igoku編集部

### グッドフォーカス賞 [新ビジネスデザイン]（経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞）

- ・デマンド型交通 チョイソコ／アイシン精機株式会社
- ・本屋 文喫／日本出版販売株式会社
- ・専門医技術支援・症例検討プラットフォーム e-casebook／株式会社ハート・オーガナイゼーション

### グッドフォーカス賞 [技術・伝承デザイン]（中小企業庁長官賞）

- ・爪切り スワダネイルクリッパー／株式会社諏訪田製作所
- ・焼き物 1616/arita japan／株式会社百田陶園
- ・着火機能付きお香 hibi 10MINUTES AROMA／神戸マッチ株式会社

### グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン]（日本商工会議所会頭賞）

- ・田植機 ナビウェル NW8S／株式会社クボタ
- ・集合住宅 プライムメゾン江古田の杜・グランドメゾン江古田の杜／積水ハウス株式会社＋株式会社坂倉建築研究所＋株式会社長谷工コーポレーション

- ・カードゲーム&書籍 SDGs de 地方創生カードゲーム/書籍：持続可能な地域のつくり方/特定非営利活動法人イシュープラスデザイン+株式会社プロジェクトデザイン

## グッドフォーカス賞 [防災・復興デザイン] (日本デザイン振興会会長賞)

- ・消火器 + 住宅用消火器/モリタ宮田工業株式会社
- ・パブリック用大便器 レジリエンストイレ(災害配慮トイレ)BC-P112SA/便器、DT-PB150CH/タンク/株式会社LIXIL
- ・住まいの分散型エネルギー・水システム 蒸暑地サステナブルアーキテクチャー/株式会社ミサワホーム総合研究所 + 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園+株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所+ミサワホーム株式会社

## グッドデザイン・ロングライフデザイン賞 (日本デザイン振興会会長賞)

- ・新生児用肌着 打合せ半袖肌着/株式会社ファミリア
- ・機能性インナー ヒートテック/株式会社ユニクロ
- ・ジーンズ リーバイス® 501®/リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
- ・筆記具 ラミーサファリ/DKSHジャパン株式会社
- ・キーボード ハッピーハッキングキーボード/株式会社PFU
- ・メガホン 防滴ハンド型メガホン/TOA株式会社
- ・花器 イッタラ アルヴァ・アアルト コレクション/フィスカース ジャパン株式会社
- ・椅子 アリンコチェア/フリッツ・ハンセン日本支社
- ・スツール スツール 60/Vitra株式会社
- ・椅子 低座イス S-5016/株式会社天童木工
- ・踏台 メタフィス・ルカーノ/長谷川工業株式会社
- ・フォント ノイエ・フルティガー/Monotype Imaging Inc.
- ・包装紙 三越包装紙 “華ひらく”/株式会社三越伊勢丹
- ・ラジオ体操 ラジオ体操/株式会社かんぼ生命保険+日本放送協会+特定非営利活動法人全国ラジオ体操連盟
- ・TV番組 キューピー3分クッキング/キューピー株式会社



グッドデザイン賞祝賀会

## 審査委員長メッセージ

2019年度グッドデザイン賞を受賞の皆様、おめでとうございます。今回のグッドデザイン賞では、昨年に続いて美しさをテーマに掲げて審査を進めてきました。

美しさを創出することはデザインの変わることのない務めであり、その度合いや質に対して目を向けることは不可欠なものでした。ただし、はじめから絶対的な美を定めるのではなく、美しさをどれだけ豊かに、時代や社会に合わせて定義できるかが大切であるようにつねに考えてきました。今回の受賞結果は、さまざまな視点とキャリアを持った審査委員たちによる、多様な美しさのあり方を模索した真剣な議論の成果であると理解していただけるとよいと思います。

さらに、それは同時に、それぞれのデザインから「共振する力」を引き出すプロセスでもありました。いまこの時代と社会に存在するデザインとして、どのような時代感覚と課題意識を伴っているのだろうか？さらに、これから先の暮らしや産業や社会のあり方に影響を及ぼしうるデザインとしての規範性（モデルとなる可能性）が認められるのだろうか？そのような関心に基づきながら、それぞれのデザインに備わる力を見出し、読み解くことこそ、審査において委員一同が何よりも心がけた点でした。

結果として、目的も表現手法も異なった多種多様なデザインが、社会の中でさざ波のように広がって、さらなる豊かな創造をもたらしていくことへの期待を十分に感じさせてくれているように考えています。

今回受賞されたデザインの一つひとつに備わる力が、人々の共感と支持を招き、これからの社会を豊かに築いていく確かな力へと発展することを望んでいます。

2019年10月2日



柴田文江審査委員長



齋藤 精一審査副委員長

# 審査委員会

審査委員長 柴田 文江 (プロダクトデザイナー)

審査副委員長 齋藤 精一 (クリエイティブ/テクニカルディレクター)

## 審査委員

●ユニットリーダー ○フォーカス・イシュー・ディレクター \*海外ゲスト審査委員

ユニット01: 身につけるもの・ヘルスケア

●濱田 芳治 プロダクトデザイナー  
佐々木 千穂 ユーザーエクスペリエンスデザイナー  
ムラカミ カイエ デザイナー/クリエイティブディレクター  
吉泉 聡 デザイナー/クリエイティブディレクター  
Somchana Kangwarajit インダストリアルデザイナー

ユニット02: 子ども・文具

●三宅 一成 デザイナー  
石戸 奈々子 デジタルえほん作家  
岡本 健 グラフィックデザイナー  
清水 久和 プロダクトデザイナー  
Carl Liu デザインディレクター

ユニット03: レジャー・ホビー

●山田 遊 バイヤー/監修者  
木住野 彰 アートディレクター/グラフィックデザイナー  
倉本 仁 プロダクトデザイナー  
村田 智明 プロダクトデザイナー/デザインプロデューサー  
Andrew Pang プロダクトデザイナー

ユニット04: キッチン/生活 雑貨

●川上 典季子 ジャーナリスト  
熊野 亘 プロダクトデザイナー  
ナカジマ ミカ デザイナー  
柳原 照弘 デザイナー  
Xiaoxi Shi インダストリアルデザイナー

ユニット05: 家具・家庭用品

●安西 葉子 デザイナー  
鈴野 浩一 建築家  
○廣川 玉枝 クリエイティブディレクター/デザイナー  
藤城 成貴 プロダクトデザイナー  
Rama Soeprapto クリエイティブ・ディレクター

ユニット06: 家電

●鈴木 元 プロダクトデザイナー  
青木 俊介 ロボットクリエイター  
松本 博子 プロダクトデザイナー  
宮沢 哲 デザインディレクター/プロダクトデザイナー  
Manfred Wang プロダクトデザイナー

ユニット07: 情報機器

●片岡 哲 プロダクトデザイナー  
石川 温 ITジャーナリスト  
緒方 壽人 デザインエンジニア  
山崎 宣由 プロダクトデザイナー  
Byung-wook Chin インダストリアルデザイナー

ユニット08: 住宅設備

●箕角 光伸 プロダクトデザイナー  
声沢 啓治 建築家/デザイナー  
小林 マナ インテリアデザイナー  
寺田 尚樹 建築家/デザイナー  
Huiming Tong インダストリアルデザイナー

ユニット09: モビリティ

●菅原 義治 デザインディレクター  
川西 康之 建築家/デザイナー/ファシリテーター  
根津 孝太 クリエイティブコミュニケーター  
森川 高行 モビリティデザイナー  
森口 将之 モビリティジャーナリスト  
Hridaysh Deshpande デザイン教育者/コンサルタント

ユニット10: 産業/医療 機器設備

●安次富 隆 プロダクトデザイナー  
石川 善樹 予防医学研究者  
重野 貴 プロダクトデザイナー  
村上 存 設計工学研究者  
Sertaç Ersayın インダストリアルデザイナー

ユニット11: 店舗/オフィス/公共 機器設備

●五十嵐 久枝 インテリアデザイナー  
安積 伸 プロダクトデザイナー  
佐藤 弘喜 デザイン学研究者  
長町 志穂 ライティングデザイナー  
Jongrae Park 空間デザイナー

ユニット12: 建築 (戸建て~小規模集合住宅)

●仲 俊治 建築家  
小見 康夫 建築構法学研究者  
千葉 学 建築家  
○板澤 麻利 建築家  
Shu-chang Kung 建築家/インテリアデザイナー

ユニット13: 建築 (中~大規模集合住宅)

●篠原 聡子 建築家  
猪熊 純 建築家  
原田 真宏 建築家  
藤原 徹平 建築家

ユニット14: 建築 (産業・商業・公共)

●永山 祐子 建築家  
浅子 佳英 建築家/デザイナー  
○林 厚見 建築/都市プロデューサー  
山梨 知彦 建築家  
Corrin Chan 建築家

ユニット15: メディア・コンテンツ・パッケージ

●水口 克夫 アートディレクター  
河瀬 大作 テレビプロデューサー  
○佐々木 康晴 クリエイティブディレクター  
三澤 遥 デザイナー  
Chi mei Chang グラフィックデザイナー

ユニット16: システム・サービス

●林 千晶 プロジェクトマネージャー  
○井上 裕太 プロジェクトマネージャー  
長田 英知 ストラテジスト  
水野 祐 弁護士

ユニット17: ビジネスモデル・メソッド

●石川 俊祐 デザイン・ディレクター  
太刀川 英輔 デザインストラテジスト  
廣田 尚子 デザインディレクター  
○ペニントン マイルス 教育イノベーター

ユニット18: 取り組み・活動

●服部 滋樹 デザイナー/クリエイティブディレクター  
○近藤 ヒデノリ クリエイティブプロデューサー/キュレーター  
平林 奈緒美 アートディレクター/グラフィックデザイナー  
○山出 淳也 アーティスト  
山崎 亮 コミュニティデザイナー

ユニット19: 韓国審査ユニット

●佐藤 弘喜 デザイン学研究者  
片岡 哲 プロダクトデザイナー  
Byung-wook Chin インダストリアルデザイナー  
Jongrae Park 空間デザイナー

ユニット20: 台湾審査ユニット

●寺田 尚樹 建築家/デザイナー  
柴田 文江 プロダクトデザイナー  
三宅 一成 デザイナー  
Chi mei Chang グラフィックデザイナー  
Shu-chang Kung 建築家/インテリアデザイナー  
Manfred Wang プロダクトデザイナー

ユニット21: 中国・香港審査ユニット

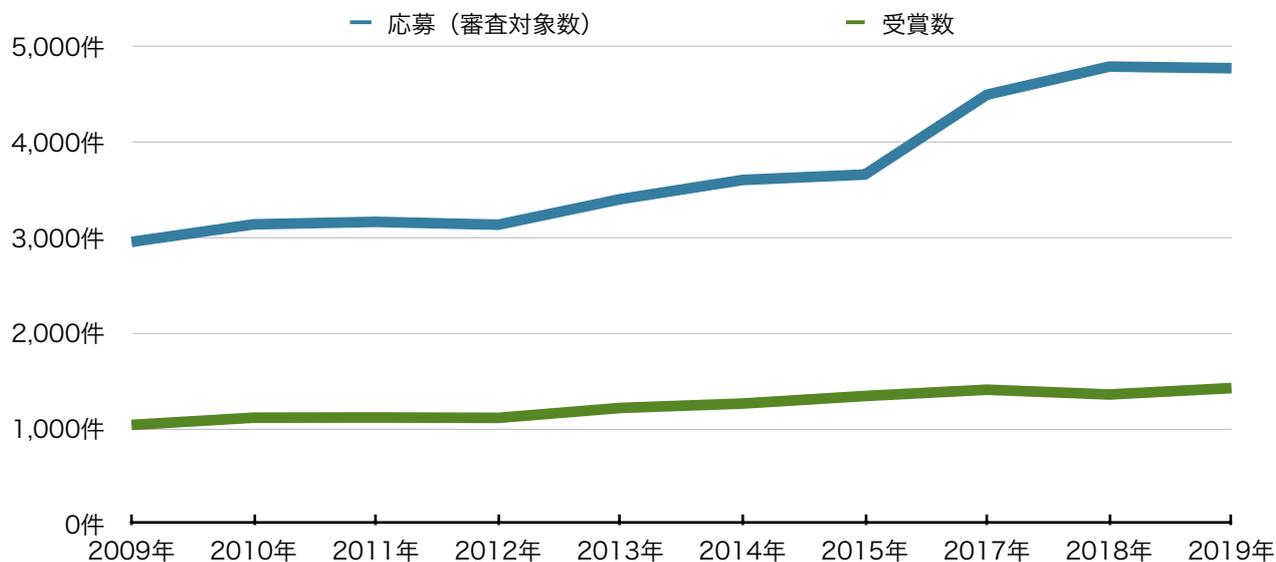
●倉本 仁 プロダクトデザイナー  
齋藤 精一 クリエイティブ/テクニカルディレクター  
鈴木 元 プロダクトデザイナー  
長町 志穂 ライティングデザイナー  
Corrin Chan 建築家  
Carl Liu デザインディレクター  
Xiaoxi Shi インダストリアルデザイナー  
Huiming Tong インダストリアルデザイナー

## グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員会

柴田 文江 プロダクトデザイナー  
齋藤 精一 クリエイティブ/テクニカルディレクター  
田村 昌紀 ブランドディレクター  
藤本 幸三 アーティスティック・ダイレクター

## 事業実績

グッドデザイン賞応募数、受賞数の推移



都道府県別受賞件数

北海道 8	埼玉県 25	岐阜県 13	島根県 1	佐賀県 2
青森県 0	千葉県 10	静岡県 20	鳥取県 2	長崎県 3
岩手県 7	東京都 622	愛知県 53	岡山県 5	熊本県 5
宮城県 10	神奈川県 69	三重県 2	広島県 14	大分県 1
秋田県 3	新潟県 29	滋賀県 3	山口県 3	宮崎県 2
山形県 5	富山県 10	京都府 30	徳島県 2	鹿児島県 0
福島県 8	石川県 11	大阪府 152	香川県 3	沖縄県 3
茨城県 3	福井県 12	兵庫県 22	愛媛県 5	
栃木県 4	山梨県 1	奈良県 2	高知県 1	
群馬県 3	長野県 18	和歌山県 3	福岡県 17	

海外地域別受賞件数

Canada 2	South Korea 70	Germany 2	Turkey 1	Slovenia 1
France 1	Thailand 22	Indonesia 6	Finland 2	Taiwan 44
India 5	U.S.A. 22	Singapore 4	Hong Kong 10	U.K. 3
Peru 1	China 119	Switzerland 2	Italy 1	

## スケジュール

4月3日-5月23日	グッドデザイン賞およびロングライフデザイン賞の応募受付期間／ロングライフデザイン賞のユーザー推薦期間
5月24日-6月26日	一次審査期間
6月27日	一次審査結果通知
7月5日-9月3日	二次審査期間
7月30日-8月1日	二次審査会（日本）
8月6日-8日	香港二次審査会
8月8日-9日	韓国二次審査会
8月13日-15日	台湾二次審査会
8月21日	グッドデザイン賞確定会および「グッドデザイン・ベスト100」選考会
9月4日	二次審査結果通知
10月2日	受賞発表
10月2日-25日	私の選んだ一品2019
10月9日	特別賞審査会
10月31日	グッドデザイン賞受賞祝賀会 グッドデザイン大賞選出
10月31日	グッドデザイン大賞、特別賞発表
10月31日-11月4日	グッドデザイン賞受賞展 ロングライフデザイン賞受賞展
2020年3月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2019」発刊



## ②海外事業

2019年度もグッドデザイン賞を主軸とした国際交流活動をさらに充実させた。日本のデザインに対する注目と関心は一層高まってきており、こうした状況を背景に、国際交流の促進やデザイン関連団体との協力関係構築に積極的に取り組んだ。

### デザイン賞連携・運営支援

各国の産業振興及びデザイン振興を目的とした「デザイン賞連携」は、タイ「デザインエクセレンスアワード」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」、トルコ「デザインターキー」及びインドネシア「グッドデザインインドネシア」の5カ国で実施している。

2019年度も相互の審査委員交換派遣を実施し、各国アワードの受賞者によるグッドデザイン賞への応募があり、37件（昨年より+6件）が受賞となった。

また、受賞展において、タイ、インド、インドネシアがそれぞれブース展示を行った。インドネシアについては、ジェットロとの共催で、インドネシアデザインのPRを目的とした審査委員と受賞者によるセミナーを実施し、その場で新たに3カ年の相互協力に関するMOUを調印した。



受賞展でのタイブース



タイのデザインエクセレンスアワード

### 国際交流

日本デザイン振興会の加盟する国際デザイン団体の1つであるWorld Design Organization(WDO)は、「デザインによる、よりよい社会の実現」をめざして活動している組織で、国連の経済社会理事会の特殊諮問機関として、持続可能な開発目標（SDGs）のデザインによる達成をミッションとして掲げている。現在約40の国・地域から173の団体や教育機関・企業等がメンバーとなり、隔年ごとに各地で総会が開かれ、日本では1973年に京都、1989年に名古屋で開催されている。

2019年10月にインドのハイデラバードで第31回となる総会が開かれた際、WDOの理事の選挙が行われ、日本デザイン振興会 事業部の津村真紀子が当選した。任期は2021年10月までの2年間で、今後日本のデザインと世界のデザインとの交流を深めるべく活動を展開していく。



トルコのデザインターキー

### インターナショナル・メディアパートナー

海外でのグッドデザイン賞に対する認知度向上と理解の促進を目指し、2019年度も受賞展のメディアパートナーとして、海外媒体4社を招聘し、受賞展と受賞祝賀会の見学、受賞デザイナーや審査委員のインタビューなどの機会を提供した。

中国の『日本設計小站』と台湾の『秋刀魚』については、受賞展だけではなく応募段階での協力や審査のプロセス見学などを経て理解を深め、審査委員や受賞者の事務所に赴いてのインタビューも実施した。『日本設計小站』は、ウェブメディアとして中国国内に影響力があり、応募説明会の実施段階から協力を得た。台湾の季刊誌の『秋刀魚』は1冊すべてをグッドデザイン賞特集として発刊するな



WDO総会

ど、大きな成果を上げた。

秋刀魚（台湾）／designboom（イタリア）／YANKO Design（グローバル）／日本設計小站（中国）



『designboom（イタリア）』



『秋刀魚（台湾）』



『秋刀魚（台湾）』

### ③広報事業

日本デザイン振興会では、様々なパートナーと連携し「場」を使ったプロモーション活動を積極的に行っている。2007年からは東京ミッドタウン・デザインハブとインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを、2014年からはグッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報機会としてGOOD DESIGN STOREの展開を、2015年からはGOOD DESIGN Marunouchiを開設し、展示会やセミナーなど通じて様々なステークホルダーとともに、デザインが持つ社会的価値を広く訴求している。

#### GOOD DESIGN Marunouchi

日本国内で初となる常設型の広報拠点としてオープンしたGOOD DESIGN Marunouchiは、2019年度末で開設4年半を迎えた。2019年度は、計20の企画展と20本のイベントを実施し、1日平均約180名、年間では5万5000人以上が来場した。

グッドデザイン賞関連では、前年度の大賞のデザインを紐解く企画展、Best100デザインを改めて紹介する企画展のほか、歴代のロングライフデザイン受賞デザインを通して賞のコンセプトを紹介する企画展、健康とスポーツ、働き方等のテーマを設定し受賞デザインを紹介する企画展を開催した。

また、当会以外の企業・団体の企画・運営による展示も多数開催。パッケージデザイン、空間デザインなど各領域のデザイン振興団体の発信の場として活用されたほか、企業のデザインセンターの活動発表、地域資源のデザインによる活用や社会的課題に対するデザインの啓蒙展示、友好関係にある香港・台湾のデザイン展など多様な展示を行なった。

グッドデザイン賞の発信の場に加え、日本のデザインを外部に開く場やデザインに関する新しい認識や価値観を醸成する場として活用され、また国内外の幅広い世代の方々が訪れる場となっている。



「グッドデザインのテキスト展」



「おてらおやつクラブ丸の内別院」展

	会期	実施主体	入場者数
おてらおやつクラブ丸の内別院	4/2～4/22	日本デザイン振興会・NPO法人おてらおやつクラブ	2,715
アジアデザイン賞受賞展	4/25～5/9	香港デザインセンター	2,919
THE LONG LIFE DESIGN SELECTION	5/15～6/8	日本デザイン振興会	2,790
Antenna展 感じること、それが未来。	6/11～6/20	富士通株式会社	864
END ALS x 世界ALSデー2019	6/21～6/23	一般社団法人 END ALS	234
2018年度Best100展「グッドデザインのテキスト展」Part1	6/25～7/18	日本デザイン振興会	4,577
2018年度Best100展「グッドデザインのテキスト展」Part2	7/20～8/11	日本デザイン振興会	2,833
丸の内キッズジャンボリー2019	8/13～8/15	日本デザイン振興会	82
アンサンブルズ東京プロジェクト FUKUSHIMA! ワークショップ	8/16～8/22	アーツカウンシル東京	232
「これもデザイン」展	8/23～8/31	「これもデザイン」展 実行委員会	993

アンイータウ(紅椅頭)観光倶楽部 台南遊 - 疲れを癒す週末台南旅	9/2~9/16	台南市政府観光局	4,249
GOOD ENOUGH ~ SMALL FACTORIES AND RICOH DESIGN ~	9/18~9/29	株式会社リコー デザインセンター	2,013
GOOD DESIGN AWARD 2019 楽しむ・感じる・装う スポーツと健康のデザイン	10/2~11/2	日本デザイン振興会	6,066
「平成」時代とパッケージデザイン	11/4~11/17	日本パッケージデザイン協会	4,084
多摩美術大学環境デザイン学科 無垢展	11/19~11/28	多摩美術大学環境デザイン学科	967
ASPaC Awards 2019 受賞作品展	12/6~12/15	独立行政法人国際交流基金/一般社団法人 アスパック協会	5,115
GOOD DESIGN AWARD 2019 燕三条展	12/16~12/25	公益財団法人燕三条地場産業振興センター	4,461
はたらく人のためのグッドデザイン	1/7~1/14	日本デザイン振興会	1,224
PVC Award2019	1/17~1/26	日本ビニル工業会 / 日本ビニール商業連合会 / 日本プラスチック製品加工組合連合会 / 塩ビ工業・環境協会	1,602
OKB48選抜総選挙結果発表展	1/28~2/2	OKB48選抜総選挙管理委員会	1,583
日本空間デザイン賞2019展	2/4~2/16	日本空間デザイン協会+日本商環境デザイン協会	1,017
2020・春のグッドデザイン展	2/22~3/22	日本デザイン振興会	4,841
GOOD DESIGN COLLECTION	3/25~4/6	日本デザイン振興会	175



## 東京ミッドタウン・デザインハブ

日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジの三者が構成機関を務めるデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブでは、2019年度もギャラリースペースでの企画展示、東京ミッドタウンとの共催による「東京ミッドタウン・デザイン部」活動、国際・デザイン・リエゾンセンターを活用したデザインをテーマとする企画展やセミナー、ワークショップなどを複合的に展開した。

また、新たな試みとして当会の所有する蔵書を中心にデザイン関連の書籍を一般に公開するライブラリーを、リエゾンセンター内に開設した。

デザインの専門性を深め、デザインと周辺領域をつなげる機会のほか、ワーカーや施設来館者に対して、気軽にデザインの視点に触れる機会を提供している。



## デザインハブ企画展示

2019年度は昨年同様計10の企画を実施し、合計で83,000名を超える来場者を記録した。2018年に好評を博し、継続での実施となった「ゼミ展」他、「日本のグラフィックデザイン2019」、グッドデザイン賞2018のファイナリスト作品を取り上げた「グッドデザイン・ファイナリスト」などが注目を集めた。また、夏のキッズウィークには全期間家族で楽しめるイベントを実施した。



	会期	実施主体	入場者数
第79回企画展 グッドデザイン・ファイナリスト2018 - これからの起点となるデザイン -	4/3~5/8	日本デザイン振興会	11,130
特別展 紙わざ大賞展-「紙」の可能性を追求するアートコンペティション	5/16~6/5	特種東海製紙株式会社	9,767
第80回企画展 日本のグラフィックデザイン2019	6/20~8/7	日本グラフィックデザイナー協会	24,994
東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク2019	8/3~8/11	東京ミッドタウン・デザインハブ	880
第81回企画展 ゼミ展2019	9/2~9/28	東京ミッドタウン・デザインハブ	8,519
第82回企画展 私の選んだ一品 -2019年度グッドデザイン賞審査委員セレクション	10/2~10/25	日本デザイン振興会	10,325
第83回企画展 ヴィジュアル・コミュニケーション・デザイン・スタディ	11/25~12/25	武蔵野美術大学	6,365
特別展 STORY-第59回日本クラフト展	1/6~1/14	日本クラフトデザイン協会	4,526
第84回企画展 JAGDAつながりの展覧会 Part 3 フレフレハンカチ	1/17~2/18	日本グラフィックデザイナー協会	4,124
未来の学校祭 2020 脱皮キャンパス・エキシビション	2/20~2/24	東京ミッドタウン	2,915



## インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京ミッドタウン・デザインハブに設けられたインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターでは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。引き続きリエゾンセンター加盟機関の実施する人材育成プログラムに会場を提供したほか、デザインの議論を深める場として多方面からの要請に対応している。

International Design  
**Liaison Center**

	実施日	実施主体
JAGDA School 2019	4/20	日本グラフィックデザイナー協会
2020年ドバイ万博に関するオープンセッション	4/22	2020年ドバイ国際博覧会日本館広報事務局
DMN 2019ミラノサローネ視察「報告会」	5/22	DMN
「THE FUTURE ～「価値共創」の視点で価値づくりの未来を描くワークショップ～」	6/13	DMN
『持続可能な地域のつくり方』出版記念セミナー	7/8	issue+design
JAPAN BRAND FESTIVAL Talk Salooooon Vol.8 「Japan Food Now！」	7/26	JAPAN BRAND FESTIVAL運営事務局
アンサンブルズ東京ワークショップ ②音頭囃子方ワークショップ	8/18	アーツカウンシル東京
香港が世界に導く日本のデザイン	8/29	香港貿易発展局
「FUKKO DESIGN」キックオフセミナー	9/1	FUKKO DESIGNプロジェクト
木の時代 ～これからの100年を見据えて、木の可能性を探る～	9/27	飛驒産業
第1回 国公立デザイン系大学会議	10/5	国公立デザイン系大学会議
フォーラム「多文化共生社会をデザインする：アジアの視点から」	10/20	国際交流基金
政策をデザインする -Designing for Public Policy	11/15	Public&Design、専修大学上平研究室
「デザイン経営フォーラム」AI、IoT、センサー技術、自動運転 デザインが導くテクノロジーの未来	12/2	日経BP総研 デザイン・イノベーション センター
IAUD国際デザイン賞2019 プレゼンテーション/表彰式	12/18	国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)
「KUKAN OF THE YEAR」受賞記念セミナー 「ヒロシマへの10年思考」	1/15	日本空間デザイン協会
Xデザイン学校公開講座：ビジネスとデザイン	1/27	Xデザイン学校、Xデザイン研究所
脱皮トーク Media Art in Tokyo：メディアアートはTOKYOをどう脱皮させられるか？	2/21	東京ミッドタウン
中小企業のデザイン経営 デザイン経営で、こどもの未来をつくる	3/5	ロフトワーク、日本デザイン振興会



## 東京ミッドタウン・デザイン部

東京ミッドタウン・デザイン部は、2017年から始めた東京ミッドタウンとの共催プログラムで、六本木エリアに仕事や暮らしの場を持つ方や来街者を対象に、クリエイティブな視点を仕事や生活に活かすことや、デザインを切り口としたサードスペースの提供を目的として、ギャラリーツアーやトークイベントなどを実施している。2019年度は計18プログラムを実施し、延べ472名が参加した。また、秋のデザインイベント「東京ミッドタウン・デザインタッチ」の期間中、「Designtouch Conference」の企画・運営を受け、7講座を実施した。

さらに、2019年度よりJDPの蔵書や東京ミッドタウンが所有する書籍を活用し、デザイン関連書籍に触れられる「リエゾンセンター・ライブラリー」を開設した。毎月10日前後開放し、2019年度は120日間で計約6,000名が来場した。



	実施日
「グッドデザイン・ファイナリスト2018」朝のギャラリーツアー	4/23
ブックイベント「記録がもたらす質量 - グッドデザイン賞年鑑のブックディレクション」	5/24
「紙わざ大賞展」朝のギャラリーツアー	5/28
ミッドタウンの紫陽花を愛でるツアー	6/4
ギャラリー・間「中山英之展 and, then」朝のギャラリーツアー	6/19
ブックイベント「メイキング・オブ・『自己紹介2.0』」	6/27
「日本のグラフィックデザイン2019」朝のギャラリーツアー	7/18
キッズイベント「SDGsを新聞で学ぼう！」	8/17
「ゼミ展」ギャラリーツアー	9/22
ブックイベント「本ある場所の作り方」	9/24
ギャラリー・間「アーキテクテン・デ・ヴィルダー・ヴィンク・タユー展」朝のギャラリーツアー	11/13
「本を通して人と繋がるライブラリーの作り方」ワークショップ	11/14
「ヴィジュアル・コミュニケーション・スタディ」夜のギャラリーツアー	12/9
クリスマス イルミネーションのクリエイティブを知るトーク&ツアー	12/12
「本屋の裏側」ツアー&トーク vol.1	1/16
「JAGDAつながりの展覧会Part3 フレフレハンカチ」ギャラリーツアー	1/28
「本を通して人と繋がるライブラリーの作り方」Part2 ワークショップ	2/11
未来の学校祭イベント 未来社会を見るためのヒント。「脱皮力」とは？	2/18



## 東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2019年度は、企業やデザイナー、教育研究機関などが企画・運営する15件を実施。木工によるものづくり、活版印刷体験、空間デザインなど、多様なデザイン領域をプロの指導によって体験するデザインハブならではの本格的なワークショップを行った他、気軽に参加できる予約不要の体験型プログラムも好評を得た。



	実施日	実施主体
粘土でアイスクリーム屋の店員さんフィギュアを作ろう！	8/3	タカハシカオリ
みんなで作ろう！カラフルきのこの森	8/4	kimama
クジラとおでかけ！ポケットティッシュケースを作ろう	8/5	kimama
つくってまなぼう!?カメラデザイン研究所!?	8/5	株式会社ニコン(デザインセンター)
ナナイロ絵本を作ろう！～鳥が旅する7つの世界～	8/7	ニジノ絵本屋
活版印刷で自分だけのノートを作ろう！	8/8	まんまる〇
Box Art 【虫がよるこぶ宝箱づくり】	8/8	アサコラ♡キッズ♡アトリエ+RE-MAKES
素材とあそぶ ～みて！さわって！「心地よさ」を見つけよう～	8/9	武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科研究室+OGチーム
親子で楽しむ電車デザイナー体験！ - 東京産木材廃材で作る手押し電車作り -	8/9,10	日本インダストリアルデザイナー協会+Spedagi Japan
親子で仕上げる、夏の天然ハンカチを作ろう	8/10	FourFriends+Spedagi Japan
夏休み!親子de わくわくワークショップ「あったらいいな、こんな店」	8/11	日本商環境デザイン協会
この夏、竹でいっぱい遊んじゃおう！①竹製ランバイク体験・竹おもちゃ遊び	8/9,10,11	東京造形大学+Spedagi Japan
この夏、竹でいっぱい遊んじゃおう！②竹おもちゃ作り	8/9,10,11	東京造形大学+Spedagi Japan
この夏、竹でいっぱい遊んじゃおう！③竹に触れる暮らしを作ってみよう	8/9,10,11	東京造形大学+Spedagi Japan
この夏、竹でいっぱい遊んじゃおう！④夏だ！竹うちわをつくらう！マイ竹カップをつくらう！	8/9,10,11	オープンハウス+Spedagi Japan



## GOOD DESIGN STORE

グッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報活動として「GOOD DESIGN STORE」を実施しているが、現在国内では野原ホールディングス株式会社の経営による「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」を、海外では「GOOD DESIGN STORE Bangkok」の運営を支援している。GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARAは、2019年11月に渋谷・スクランブルスクエア渋谷内に2店舗目を開設、TV、雑誌をはじめとするメディアへの露出も増えている。



GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA 渋谷店



GOOD DESIGN STORE Bangkok

## 神戸市との協力に基づく企画の実施

2018年度グッドデザイン大賞の「おてらおやつクラブ」をテーマに、事業運営関係者とグッドデザイン賞審査委員などが出席したイベント「おてらおやつクラブー地域との営みをリデザインする」の開催に協力。地域の社会課題の解決を目指すデザインの取り組みを紹介した（2019年7月3日開催）。

また、2019年11月22日から12月8日までの期間、「グッドデザイン神戸展2019」が開催された（主催：神戸市、共催：日本デザイン振興会）。この企画展では2019年度の特別賞受賞対象全件が出展され、2018年度に引き続き、関西地区においていち早く最新年度のグッドデザイン賞受賞作を紹介した。会期中はグッドデザイン賞審査委員と受賞者を招いたトーク、ワークショップなどを合計11回開催して、展示と参加企画を通じてデザインの魅力と意義を広く伝える機会となった。



おてらおやつクラブー地域との営みをリデザインする



グッドデザイン神戸展2019

## 見本市や販売などの対外連携

2019年度も百貨店などと連携して、見本市や展示会、店頭販売などを通してグッドデザイン賞のプロモーション活動を展開した。なお、例年開催していた「日経メッセ 建築・建材展」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

LIVING & DESIGN 10月30日～11月1日

会場：インテックス大阪

主催：LIVING & DESIGN 実行委員会

Good Over 50'sくらしのデザイン展

横浜そごう会場 11月5日～18日

西武池袋本店会場 11月6日～19日

主催：株式会社そごう・西武 + ケアリングデザイン



LIVING & DESIGN

## アーキテクト・スタジオ・ジャパンとの協業による広報推進

日本最大の独立経営建築家ネットワーク機関であるアーキテクト・スタジオ・ジャパンとの間で、2017年から広報連携を継続している。2019年度も会員向け定期媒体でのグッドデザイン賞受賞建築家の紹介の連載が通年で継続されたほか、グッドデザイン賞の募集告知もネットワークを介して実施された。



Good Over 50'sくらしのデザイン展

## PR事業

当会事業に関するメディア向け広報として、国内媒体宛にプレスリリースを16回配信した（グッドデザイン賞事業関連：8回、国際事業関連：2回、東京都事業関連：5回、その他事業：1回）。

受賞発表後に、日本テレビ系「News Zero」と「Oha!4 News Live」でベスト100に関する放映が行われたのをはじめ、「Pen Online」をはじめとするウェブ媒体や地域系媒体での報道が多数みられた。

例年実施している主要日刊紙における受賞連合広告特集は、2019年11月に朝日新聞・日経新聞・読売新聞の本紙で掲載された。さらに雑誌『ブレーン』（宣伝会議）でも2019年12月に特集が実施された。

また、Facebook、YouTube、instagram、noteなどのツールを活用した情報発信にも積極的に取り組んだ。



ニュース報道：News Zero



ニュース報道：Pen Online



受賞連合広告特集：朝日新聞

## ④公共プロモーション事業

### 東京ビジネスデザインアワード

「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のものづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとの協働による、新しいビジネスモデルやブランドの開発を目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションである。優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングさせ、新事業の実現・オリジナルブランド構築に向けた支援を行う。当会は主催元の東京都とともに、2011年度からこの事業の企画運営を担っている。

2019年度は、東京都内の中小企業が持つ高い技術や特殊な素材を「テーマ」として募集し、審査を行い選定、それに対して全国のデザイナーから、新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザイン提案を募集した。さらに対象となった企業とデザイナーに対して、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のための講座などを、審査委員やプロジェクトマネージャーと伴走型で実施した。

#### ■スケジュール

4月10日	開催概要発表・テーマ募集
7月9日	テーマ審査会
8月20日	テーマ発表・提案募集
11月6日	提案一次審査
11月20日	提案二次審査
12月17日	テーマ賞発表
2月5日	提案最終審査・結果発表・表彰式

#### ■審査委員

廣田 尚子	(デザインディレクター)	審査委員長
金谷 勉	(クリエイティブディレクター)	
川田 誠一	(工学博士)	
澤田 且成	(ブランディングディレクター)	
日高 一樹	(デザイン・知的財産権戦略コンサルタント)	
南馬越 一義	(クリエイティブディレクター)	

#### ■最優秀賞・テーマ賞 (1件)

提案：新規培養技術による「酒づくりイノベーション」  
清水覚 (ヤファー株式会社)、清水大輔 (SHIMIZUDESIGN)  
株式会社セルフファイバ (文京区)

#### ■優秀賞・テーマ賞 (2件)

提案：「段ボール加工技術」から生み出す明かりの防災プロダクト  
柳沢祐治 (YUJI YANAGISAWA DESIGN)  
有限会社坪川製箱所 (葛飾区)

提案：ものづくりをアップデートする新サービスの提案  
清水覚 (ヤファー株式会社)  
株式会社アーク情報システム (千代田区)



提案最終審査



新規培養技術による「酒づくりイノベーション」



「段ボール加工技術」から生み出す明かりの防災プロダクト



ものづくりをアップデートする新サービスの提案

## 高鍋デザインプロジェクト「まんぷく TAKANABE」

本プロジェクトは、地域密着型の金融機関である信用金庫と連携し、自治体ならびにその地域の事業者の新規事業をビジネス面、デザイン面の両方からバックアップすることにより、地域がデザインを活用して成長するための地盤づくりを行うものである。また、デザイン開発には地域のデザイナーを起用することにより、地域でのデザイン活用の推進と継続的な関係づくりを目指している。

宮崎県の高鍋町は、海と山の恵みを受けた農業と商業の盛んな町である。ブランド名の「まんぷく」には、人の心を満たす食の提案として現代社会へのメッセージを込めている。2016年より町の事業者と宮崎県在住のデザイナーによるブランドづくりと商品開発を行い、2019年度で事業としては一旦区切りを迎えた。最終年度は県内イベントスペースでのデザイナートークイベントや事業を総括したパンフレットの町内全戸配布、東京での物産販売会等を実施した。今後も、事業から生まれた商品・ブランドを資産として活用していくこととなっている。

事業主体者：宮崎県児湯郡高鍋町

実施者：高鍋町の事業者19社

商品およびブランドの企画・デザイン：宮崎県在住のデザイナー6名

地域内調整、経営支援、販路拡大支援：高鍋信用金庫

協力機関：信金中央金庫、宮崎県工業技術センター



高鍋デザインプロジェクト「まんぷく TAKANABE」

## デザイン振興政策アーカイブ

昨年度当会の創立50周年を記念し、公立大学法人静岡文化芸術大学との共同事業として「デザイン振興政策アーカイブ」の整備を開始した。主に戦後から2000年代初頭にかけて、日本において国が主体者・管轄者となって行われたデザインの振興政策に関する答申や報告書などを収集整理し、ウェブサイトで公開、供覧を開始した。また、記念フォーラム「日本のデザイン政策の歴史」をグッドデザイン賞受賞展中に開催した。



ウェブサイト「デザイン振興政策アーカイブ」

## 「中小企業のデザイン経営」調査協力

当会と関東経済産業局、ロフトワークが連携して「デザイン経営」を実践している中小企業経営者を対象に調査を行い、レポートにまとめるとともに、発表イベントを開催した。



「日本のデザイン政策の歴史」フォーラム

## 企業経営へのデザイン活用度調査

「デザイン経営」を社会に浸透させていくための指標づくりを目的に、経営におけるデザインの導入・推進状況、課題意識などを中心とするアンケート調査を三菱総合研究所と共同で行った。分析結果は、2020年度上期に公表する。



中小企業におけるデザイン経営調査報告書

## ⑤人材育成推進事業

### グッドデザイン賞学生インターンシップ

グッドデザイン賞審査会を、各分野の最新のデザインと一線で活躍する審査委員が一堂に会する学びの場と位置づけて、約100名のデザイン専攻学生を対象に「学生インターンシップ・プログラム」を実施した。審査会の運営サポートや、独自に行う審査対象に関する研究や考察を通じて、学生に対してデザインへの知見を高める機会を提供している。



グッドデザイン賞学生インターンシップ

### 神戸展での模擬審査ワークショップ

「グッドデザイン神戸展2019」の会期中に、神戸電子専門学校生を対象とするグッドデザイン賞に関するレクチャー、学生向けの模擬審査ワークショップを実施した。



「グッドデザイン神戸展2019」模擬審査ワークショップ

### 台湾国際学生デザインコンペ

2013年から世界最大規模の「台湾国際学生デザインコンペティション」に協力し、JDP特別賞の贈賞と、審査委員を毎年派遣している。今後も国際コンペ参加機会として日本の学生に広めていく予定である。

### 宮城大学での受賞デザイナー講座

宮城大学価値創造デザイン学類と連携して、グッドデザイン賞の受賞者による演習講座「Good Design Lecture」を昨年度に引き続き開催した。今年度はファイナリストに選ばれた富士通株式会社マーケティング戦略本部にてAntennaの開発に取り組む本多達也氏を講師に招いた。



宮城大学「Good Design Lecture」

### オリンピック・パラリンピック教育特別授業

東京都足立区立伊興小学校からの依頼を受け、東京都オリンピック・パラリンピック教育の特別授業として、5年生の児童を対象に「ワークショップ：ユニバーサルデザインを考える」を実施した。



足立区立伊興小学校「ユニバーサルデザインを考える」

### 宣伝会議賞への課題提供

宣伝会議が主催する広告コピー公募懸賞の中高生部門に、2018年度に引き続き課題提供者として参加し、グッドデザイン賞を伝えるためのコピーを募集した。協賛企業賞に「いいデザインには、理由がある。」を選出。

### デザインハブ・キッズウィーク

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2019年度は、企業やデザイナー、教育研究機関などが企画・運営する15件を実施。



東京ミッドタウン・デザインハブ「キッズデザインウィーク」

## 事業構想大学院大学との連携企画

プロジェクトデザインで社会を変革する力を持つ人材育成を目指す事業構想大学院大学と連携し、年間を通して月刊誌『事業構想』で「ビジネスデザイン」をテーマにした連載企画を2019年度も展開した。

また、教育業界を対象にした新雑誌『先端教育』でも、グッドデザイン賞を受賞したデザインを紹介する連載を毎月紹介している。



月刊誌『事業構想』連載



月刊誌『先端教育』連載

## 2019（令和1）年度事業報告（総務・管理業務）

### 1. 会務の実施（役員会等の開催）について

#### （1）評議員会

回	日時・場所	議題等
第23回	2019年6月21日（金） 16：00-17：00 インターナショナル・デザイン・ リエゾンセンター	議題 ・平成30年度決算報告書（案）について 報告事項 ・平成30年度事業報告書について ・次期評議員及び役員（理事・監事）の就任について ・今年度のグッドデザイン賞事業現況 その他
第24回 （臨時）	2019年11月26日（火） 18：00-18：25 当会会議室	報告事項 ・2019年度事業の進捗状況等について その他 ・今後のグッドデザイン賞事業等の方向
第25回	書面による決議 決議及び承認があったもの とみなされた日 2020年3月17日（火）	議題 ・2020年度事業計画書（案）について ・2020年度収支予算書（案）について 報告事項： ・2020年度グッドデザイン賞審査委員並びにグッド デザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱 について ・就業規則の改定について

#### （2）理事会

回	日時・場所	議題等
第28回	2019年6月5日（火） 16：30-18：00 当会会議室	議題 ・平成30年度事業報告書（案）について ・平成30年度決算報告書（案）について ・評議員会の招集（案）について 報告事項 ・今年度のグッドデザイン賞事業現況について ・今後のスケジュールについて

第 29 回	2019 年 6 月 21 日(金) 17:00-17:20 当会会議室	議題 ・代表理事及び業務執行理事の選定(案)について ・グッドデザイン・フェロー称号の贈呈候補者(案)について その他
第 30 回	2019 年 12 月 17 日(火) 16:30-17:30 当会会議室	報告事項 ・2019 年度事業進捗等 議題 ・次期グッドデザイン賞審査委員長及び副委員長(案)について ・グッドデザイン賞審査委員会設置規程改定(案)について ・GOOD DESIGN Marunouchi 事業の継続(案)について
第 31 回	書面による決議 決議及び承認があったものとみなされた日 2020 年 3 月 4 日(水)	議題 ・2020 年度事業計画書(案)について ・2020 年度収支予算書(案)について ・2020 年度グッドデザイン賞審査委員並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱(案)について ・評議員会の招集(案)について ・就業規則の改定(案)について

### (3) 会計監査等

#### ① 監事監査：2019 年 5 月 31 日(金)

目的：平成 30 年度事業報告書(案)、平成 30 年度決算報告書(案)

#### ② 監査法人監査：EY 新日本有限責任監査法人会計監査

(期末監査)

2019 年 5 月 9 日(木)、10 日(金)、11 日(土)、20 日(月)

当会会議室

目的：平成 30 年度決算処理

(期中監査)

2019 年 12 月 12 日(木)、13 日(金)、2020 年 2 月 12 日(水)、3 月 25 日(水)、27 日(金)

当会会議室

目的：2020(令和元)年度会計処理

## 2. 賛助会員の現状について

2019年度末の賛助会員および情報会員数は188。(会費は広く公益事業に役立てている。)  
近年は、会員企業等の経費削減や組織改編により会員数が漸減傾向にあり、2019年度は4企業より退会届が提出された。

## 3. 後援、協賛事業について

2019年度に当会が後援ならびに協賛、協力の名義を提供した外部企画は、55団体延べ63件であり、当会は各地・各種の公益事業に広く協力している。

### (1) 供与先内訳

自治体及びその関連機関	デザイン専門団体	業界団体	民間企業	教育機関	海外機関	任意団体
20	10	9	10	7	1	6

### (2) 事業内訳

デザイン展	見本市	デザインコンペ	セミナー・ワークショップ等
12	11	16	24

## 4. グッドデザイン・フェローについて

### (1) グッドデザイン・フェロー称号贈呈式の実施

日時：2019年12月4日(水) 15時00分-17時00分

※2019年度グッドデザイン特別賞贈賞式内にて開催

場所：国際文化会館

### (2) 授与者

第29回理事会の議決により、下記7名に称号を贈呈。(敬称略)

青木史郎、佐藤 卓、須藤玲子、田中一雄、渡邊 誠、原 研哉、Pradyumna Vyas

## 5. 業務管理・調整について（規程、内規、業務調整等の実施）

### （1）各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
2019年12月17日	グッドデザイン賞審査委員会設置規程	改正	昨今指摘されている社会上の課題に対応するため、年齢制限と再任期間を変更した。
2020年3月4日	就業規則	改正	「働き方改革」が目標とする長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保のための措置。改定のポイントは、変形労働時間制の導入、所定労働時間の1時間延長。
	職員の兼業・兼職に関する規程	改正	適用範囲の変更
	育児・介護休業規程	新設	

### （2）各種業務調整

年月日	項目	実施事項	概要
2020年2月27日 3月11日 3月23日 3月26日	新型コロナウイルス感染防止に関する措置	事務局長通達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役職員の勤務について（時差出勤・一部在宅勤務）</li> <li>・役職員で体調不良が疑われる場合の措置（出勤自粛）</li> </ul>
2020年3月10日	2019（令和元）年度末に向けての経理処理について	事務局長通達	決算に向けての経理処理留意事項
（以下、2020年度に実施したものであるが、前年度からの継続案件なので、参考までに記載した。）			
2020年4月7日	緊急事態宣言発令時のJDPの対応	新型コロナウイルス緊急対策本部 会議・通達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全面在宅勤務への切替え</li> <li>・事務所原則閉鎖（一部当番出社）</li> <li>・Marunouchi 等一時休館</li> <li>・期間は4/8～5/6</li> </ul>
2020年4月8日	緊急事態宣言発令に伴う臨時職員に対する措置	事務局長名	休業期間中の賃金補償について
2020年5月4日	緊急事態宣言延長に伴う対応	新型コロナウイルス緊急対策本部 会議・通達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種措置の継続・延長（5/7～5/31）</li> <li>・Web会議のさらなる活用推奨</li> </ul>

## 6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

2019年度に実施された監査、検査はない。

## 7. 資産管理の現状

### (1) 保有資産

一般正味財産において満期償還があった。基本財産の評価額は前年度に対し微増し、その他の評価額は減少した。運用利息は、基本財産は変わらず、特定資産および一般正味財産は前年度に対し減少した。

### (2) 基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息

	資産割合			評価額 (円) (3.31.現在)	利息 (円) (年間)
	預金	仕組債	国債・地方債・社債等		
H27 年度	0.1%	10.1%	89.8%	1,596,329,150	29,957,499
H28 年度	6.6%	10.5%	82.9%	1,524,701,370	23,128,455
H29 年度	6.5%	10.2%	83.3%	1,545,532,110	23,005,900
H30 年度	3.6%	7.5%	88.9%	1,590,424,620	22,577,322
2019 年度	3.6%	7.5%	88.9%	1,581,673,430	21,801,972

## 8. 海外におけるGマークの商標登録の現状

- (1) 現在、中国・韓国・ドイツ・シンガポール・タイ・香港・台湾で一部の区分において商標権を取得している。
- (2) 中国においては、2011年に取得した商標権について、3年不使用の取消審判の請求を受け、これに反駁できず一部の物品等の商標権を失った。
- (3) インドへの出願（2014年）については、審査継続中である。
- (4) 国内において、あらたに35類（広告）への登録申請を行い、審査継続中である。